

(議長)

はい。休憩前に引き続き、会議を再開致します。

次に、まちづくり推進課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

「まちづくり推進課長」。

「まちづくり推進課長」(補足説明)

それでは私の方から、31年度のまちづくり推進課所管予算について、ご説明致します。大きく変わった所だけご説明させていただきます。説明は資料に基づいて、行いたいと思います。江差町各会計予算資料の方で行きます。

資料の9頁をお開き願いたいと思います。資料の9頁の27番から41番までが、うちの所管でございますが、大きく変わった所を説明致します。

28番の北の江の島魅力賑わい創出モデル事業でございます。これは。定例会資料のNo.2の93頁に私どもの所管の事業を、改に詳細に載っております。中身についてでございますが、資料に記載しておりますとおり、恋する灯台プロジェクトという事で、ロマンチスト協会に認定された鷗島灯台、その背後にあります、いにしえ街道、そういった所を周遊してそれをゴールした方に記念品を渡すといったようなものを取り組んで行きたいと思っております。また、マリンスポーツの推進事業でございますが、地方創生の拠点整備交付金で整備したマリナー艇庫なんですが、その利活用を少し強めにアクセルを踏んで行きたいと思っております。それと、社会教育課でマリンフェスタをやっておりますが、それ以外にも、当課にはマリンスポーツの推進員がおりますので、その方を最大限、活用してマリンスポーツの色々な振興を図って行きたいなと思っております。それと、小学校の方ですね、少しパンフレットを持って行きて、今、学級単位でレクレーションをやっておりますが、そういった所にも周知、PRを図って行きたいと思っております。それと、寺子屋の売店の扉を開けるといった事も、今回の事業に入っております。最終的には、資料のですね、もう一回、元に戻りますが、資料、定例会資料のですね、No.4番です。これが全体像となります。全体像と行きますと、まちづくり推進課、健康推進課、財政課、社会教育課、大きく多課、多岐に渡りますが、これらを1つのパッケージとして、地域づくり総合交付金に申請をして、財源の確保も図って行きたいという事でございます。切れ目のない施策の展開を各課、横断的に行うという事でございます。

次に、ずうっと跳びます。No.35番でございます。ふるさと応援寄附金対策についてでございますが、これまでも、ふるさと納税推進員を配置しながら、小まめに個店を回って、商品のリストアップを行って来ましたが、本年度は、寄付者に贈られる返礼品の資金を、他人のために使うというコンセプトで、思いやり型返礼品、導入に向けた検討も行って参りたいと考えております。目標額、今年度5千万という設定をさせて頂いております。おりますので、そこに向けて頑張るって行きたいと思っております。

次に、No.36番の情報発信強化対策についてでございますが、本年度トップページのレ

アウト変えるという事と、先般うちの職員が研修会を行ってきた所、江差町もホームページがバリアフリーになってないという事です。障がいのある方が見やすい環境を整えるために、先般、庁内で各所管課の担当者呼んで研修会を行っております。適宜それぞれの所管のホームページが障害者にも見やすい、そういった環境をと整えて行きたいと思っております。

次に、No.38番の第6次の江差町総合計画の策定でございます。昨年度、実施した町民アンケートを基に今年度は、策定審議会を組織して、構想、基本計画、実施計画といった具体的なプランの策定に努めて参ります。

次に、No.39番の戊辰戦争終結150年記念事業であります。今年、戊辰戦争の終結150年を迎える事から、道南の10市町と函館市の民間団体が中心となり、実行委員会を組織しております。こういった中で、広域的な取り組みに対する負担金を、開陽丸青少年センターへ補助するものであります。予算額は60万円という事になっております。後、特に新しい所はございません。歳入についても変わった所はございません。

最後になりますが、まちづくり推進交付金の関係で、町民の皆様、議会の皆様、色々な方にご心配、ご迷惑をお掛け致しました。大変、申し訳ございませんでした。議会の総務産業常任委員会に意見に付託された様に、早い時期にですね、旅館、宿泊事業者の皆さんと、また話し合いをして、理解と納得を得る様に努力をして参りたいと思っております。宜しくお願いします。

(議長)

説明が終わりましたで、一括質疑を許します。質疑希望ありませんか。

(なしの声)

(議長)

はい。「小野寺議員」。

「小野寺議員」

3つあります。まず、北の島の島魅力賑わい創出モデル事業に関してなんですが、これは今日一般質問などで、いわば観光の側面ですね、江差観光みらい機構、そっちの方の仕事といわばタイアップする、ソフトで言うところの説明、資料の40にもまさしく書いておりますけれども、北の島の島構想のスタートアップ事業として、やるという事と江差観光みらい機構などの各種団体との連携という事です。まさしく北の島の島の事業のスタートアップだと、いう風に受け止めていいのだらうなと思うんですが、それで、あくまでもこれは、道の振興局の財源です。大体あれですか、課長。2年、1年、3年ですね、ですから頑張って3年だとして、今後の考え方を質問としてお聞きしたいんですけども、

江差観光みらい機構との連携はあくまでも連携ですし、北の江の島構想のスタートアップはスタートアップだと。そうすると2年3年辺りの一定のイメージ、私は結局、みらい機構、江差観光、じゃない、いいか、北海道江差観光みらい機構が、北の江の島構想の事業の担い手の大きな柱だとして、更にそこのハード、ソフトの、ソフトの自分達の仕事の体験観光等々、今日も説明ありましたが、しかしこういう今回モデル事業の名前で言う、スタートアップのこの事業も、もしかしたら江差みらい機構の体験観光等も含めたこれを継続出来るそういうスタートアップというふうな位置付けで、受け止めていいのか担当段階では引き続きこれを発展させるという流れで力を入れていく。という事にきつとなんのかと思うんですが、そこら辺ちょっと、今後のお考えもお聞きしたいというのが1つ。

併せて、去年も話したんですが、たまたま私、マリンスポーツの時に行って、結構、1日位居たんですが、本当に素晴らしい事業だと、ありましたけれども、もう1つ、反面、あれ、課長、役場の職員かなり居ましたね。何人居たでしょうかね、10人やもっと居たでしょうかね。あの方々、担当、課長方も結構居たから、それはもしかしたら、人件費等々の事なのかどうか分かりませんが、短い期間だったら、そういう事もあり得るんでしょうけれども、やっぱり、そこはしっかりと、人件費といえますか、要は事業としてやるとすれば、そういう事も含めて、課長方に尻を叩いてやってもらうのではない。しっかりとした体制の中で、やっていかなきゃならないと思うんです。そういう事をやる事によって、きちっと、観光みらい機構にも、そのソフト事業をスムーズに継続できると、いう形を作っていく必要があると思うんですが、そこら辺もちょっと教えてもらえればなど、これが1つです。

2つ目。まちづくり推進交付金事業。先程も最後に課長から説明ありましたが、私は旅館組合との関係は、それはそれとして、ソフト事業も含めて、本当に有効に活用すれば空き店舗などを何とか、江差の地元の例えばNPOだとかですね、それを上手く使って、賑わいなどに何とか使えないかと、多少のハードのお金も使って、あとソフトのお金も使えば、という事が私ちょっと話した事あったんですが、知らなかった。中々、あれ町広報を見て、あまりそういうイメージが出てこないかも知れない。ですから、例えばこういうふうに使えば、ソフト、ハードでこうやって、事業展開出来ますよとかっていう事も、何かヒントもイメージ出来る様なインターネット、ホームページにも載せる、町広報にも載せる、何かね、行政的なあれですよ。去年の町広報に載ったのもですね。もつともつともつと、民間の人達が宣伝するようなそういうイメージをね、もつと考えて、まちづくり推進交付金を本当に沢山のの人にこれ、応募してもらいたいという意欲が中々見えなかった。その点について、場合に寄ってはですね、新聞折り込みなども含めて、最後の年ですか、やってもらえればなど、というのが2点目。

最後。今もちょっと話しましたが、ホームページ。さっきバリアフリーっていう話ありましたがけれども、それも含めてなんですが、ちょっとよく分かりませんが、どれだけの繋がりがいいのか、ちょっと分かりませんが、中々、今日来ている皆さん、皆、何か

の仕事をしよと思ったらね、国の機関入ったり、道の機関入ったりしてね、それでほとんど、かなりの部分は、掴んでるはずなんですよ。更にまた、足りない部分は、直接聞く事、あると思うんですが、そうやって江差町のホームページ見たらですよ、どうです。中々、新しい事業がよく分からない。それからそこに入るにはですね、3段階、4段階、入り方が中々分からない。議会は、偉い頑張ってますね、もう既に、昨日、おとついでから、この議案書全部アップしていますね。でも、議案、議案書がいくらPDFで入ったとしてもですね、そこで資料入るに中々、ゆるくないですよ。全部、一括ですからね。議員の皆さんが見るにはいいけれども、一般の人が議会に入って、これを見るったら、ちょっと、正直、ゆるくない。やっぱり、ホームページで、優しく入って、優しく見れるような工夫しないと。町外の方は、観光客も含めて、そうですね、若い人なんてね、皆ホームページですよ。観光地を見るにしても、観光地に行こうと思ったら、あら江差町はどういうところだろうと思ったら、江差町入って調べますよ。もっともっともっと、江差の魅力ホームページをとおしてね、それこそ世界中にアップして欲しいんです。その点で言うと、どういう仕組みになっているのか、ちょっと教えて下さい。それぞれ、各課任せなのか、大事なデータが入っていないのもあったんですよ。某課、江差の大事な、大事なデータというか、情報が入ってなくて、某課長に言ったらびっくりして、すぐ2日辺りには入りましたけれどもねえ。という事です。

(議長)

小野寺さん。短的に。

はい。「まちづくり推進課長」。

「まちづくり推進課長」

まず、初めにみらい機構と今回のスタートアップ事業の関係ですが、1番分かりやすいのはですね、定例会資料No.2の90頁をご覧ください。みらい機構の業務、89頁に載っていますが、この中の90頁のですね、既存メニューあるいは、未構築メニューってありますが、ここにですね、今、私どもがやろうと言ってる事業が将来的に、はめ込みになって行きたいなと思ってます。そういう中で、みらい機構の皆さんが、こういう物を組み合わせながら教育旅行、あるいはアクティブ観光、そういった物の商品化に向けてですね、繋ぎをして頂ければなと思っています。それと、稼ぐ仕組みですが、社会教育課のきっとマリリンフェスタの事を議員は、きっと、おっしゃっていると思いますが、社会教育課の方は、町の主催事業という形でですね、マリリンフェスタをこの間2年間、過去行って来ました。私どもの事業につきましては、今居る、地域おこし協力隊の方が今後、卒業した時にですね、それで少し生業の一部に出来る、ないかという事の試行も含めてですね、この3年間、ちょっと努力を積み重ねて行くという仕組みになっておりますので、ご理解願います。

それと、2点目でございます。まちづくり推進交付金ですが、これまでも昨年、小梅議

員からもですね、周知が足りませんという事をご指摘を受けまして、5月と7月の広報とホームページで行って来ましたが、もう少し分かりやすく工夫をしてはどうかという議員のご指摘ですので、少し我々の方もですね、無い知恵を絞りながらですね、ちょっと頑張ってみたいなと思っておりますので、ご理解願います。

それと、3つ目でございます。ホームページですが、実は今のホームページにつきましては、平成26年の4月に1回、中身、ガラッと変えました。その時に約束事があります。各所管課で更新作業を確実にするという事なんです。元々は、まちづくり推進課って、政策推進課で全部管理してましたが、それぞれが、自分達の内容は更新作業をやって下さいって事になってますが、少しおろそかになっている部分が、最近散見されております。私どもの方も、これを踏まえてですね、各課の方には、更新作業、あるいは先程言った、グローバルデザイン化、こういった事を研修会などを通じてお話をしておりますので、少しずつ、改善をして行きたいなと思っております。

それと、最後になりますが、全体の検索しづらいとか、見づらいという様な内容でございますが、先程、今回予算の最初に言いましたが、今年度トップページも含めてですね、ちょっとコーティング経費、付いておりますので、担当者とちょっとお話しをしながらですね、どういう形がいいのか、少し工夫してみたいと思います。宜しく願います。

(議長)

いいですね。

「小野寺議員」

議長。1つ簡単に。

(議長)

「小野寺議員」。

「小野寺議員」

最後のホームページ、課長、何かこう体制作りみたいなものは、あまりギシギシしたものは、ガチガチしたものは、そこまで求めませんが、定期的が集まって、検討会だとかです、情報交換だとか、どこまでアップしているかだとか、何かそういうのはあるんですか。よその町見たら、結構、ホームページ何々委員会とかですね、集まってやってる。私、すごく大事だと思うんですよ。罷り間違ったら、悪いんですが、6年前の情報、入ってたり、ここの、居ないか、居ないな。ある課の所、エライ古い、私、間違っただけ、見てたんですよ。そういうの何か、ないんですか。

(議長)

「推進課長」。(正：まちづくり推進課長)

「まちづくり推進課長」

実は、これまでにですね、更新作業の説明会を2度程やっという事。それと、先般、言いました、今年に入りましてデザインのグローバル化の講習会、研修会ですか、行っています。それと、機会ある毎に確認作業依頼はしていますが、中々そこまで目、回らないという現状も各課にはあるのでしょうか。ただ、少なくとも、センサス系とかですね、数値的なものは、更新はそんなに難しい事ではないので、まずそういった所からですね、手を付けるように、ちょっと指示をして参りたいと思いますので、宜しくお願いします。

(議長)

はい。いいですね。

(議長)

はい。他に質疑希望ありませんので、まちづくり推進課予算並びに関連議案についての質疑を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了致しました。

本日はこれで散会致します。

大変ご苦勞さんでした。

延会 18 : 45